

## 「集団」か、それとも「群れ」か

今朝の二年C組の朝の会で、担任のU教諭が「仲間」と「友達」の違いについて生徒たちに語りかけていました。それを聞いていて、過去のことか蘇ってきました。私の場合、「集団」と「群れ」という言葉の違いを生徒たちに考えさせました。U教諭と私は、扱った言葉は違っても、同じようなことを生徒たちに指導しているかわかり、うれしくなりました。確か、写真を何枚か用意したと記憶しています。学級の集合物が数多く集まった写真などを見せて、「集団」なのか「群れ」なのかを生徒たちに判断させました。

生徒たちは見事に使い分けました。動物の写真を「群れ」と判断し、人間の集まった写真を「集団」と答えました。人間か動物かの違いで使い分けると彼らは考えたようでしたので、私はもう一枚写真を見せ、核心に迫ろうと考えました。

それは、アフリカ大陸に生息するヌーという牛科の動物の写真でした。ヌーは餌を求めて数十万頭が集まって大移動するのが特徴です。私が選んだ写真は、川を渡るときに流れやワニの犠牲になった一部のヌーを無視して（「利用して」と言った方が適しているかもしれません。）移動を続ける時のものでした。

この一枚で、生徒たちには「集団」と「群れ」の違いが納得できたようでした。つまり、「集団」とは、同じ目的に向かって、全ての仲間を大切に集まりのことです。「群れ」とは、目的はあっても、一部の犠牲の上に他の仲間の営みが成り立ってしまふ集まりのことです。人権という観点から言っても、人間の世界においてあってはならないのが「群れ」だと言えるでしょう。

昨日、一年B組の英語の授業と、二年AB組男子の体育の研究授業がありました。英語でのペア学習に全員が楽しそうに取り組む姿、一人一人の跳び箱の演技を録画し、全員で視線をそろえて確認する姿が印象的でした。英語にしても体育にしても、苦手な生徒はいるはずなのに、そういう生徒を大切に授業

が進んでいたことが、私にとっていちばんの感動でした。

あなたの所属する学級、あなたたちが作る授業は、「集団」と呼ぶにふさわしいものになっていきますか。得手不得手、好き嫌いなどの違いを、温かく受け入れて、最高の学級、最高の授業を作っていきますように。

（十二月二十三日 記）

